

平成29年度「全国学力・学習状況調査」教科別正答数分布(中学校)

グラフの縦軸：人数の割合、横軸：正答数

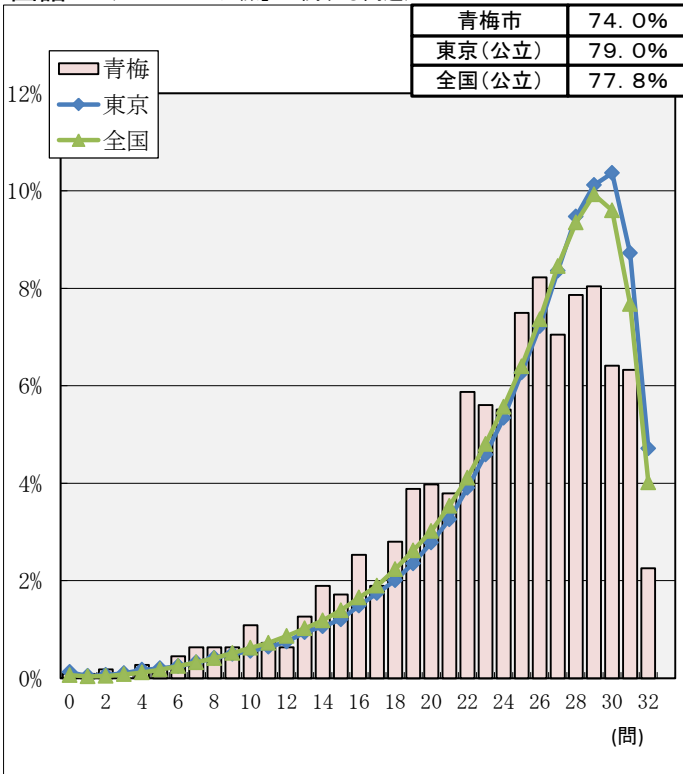
平成29年10月

青梅市教育委員会

国語A (主として「知識」に関する問題)

平均正答率

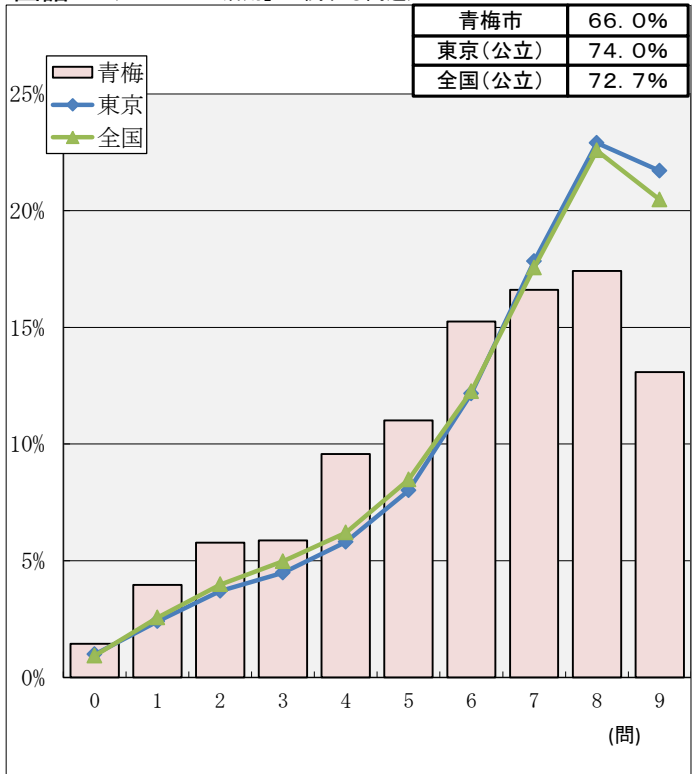
青梅市	74.0%
東京(公立)	79.0%
全国(公立)	77.8%



国語B (主として「活用」に関する問題)

平均正答率

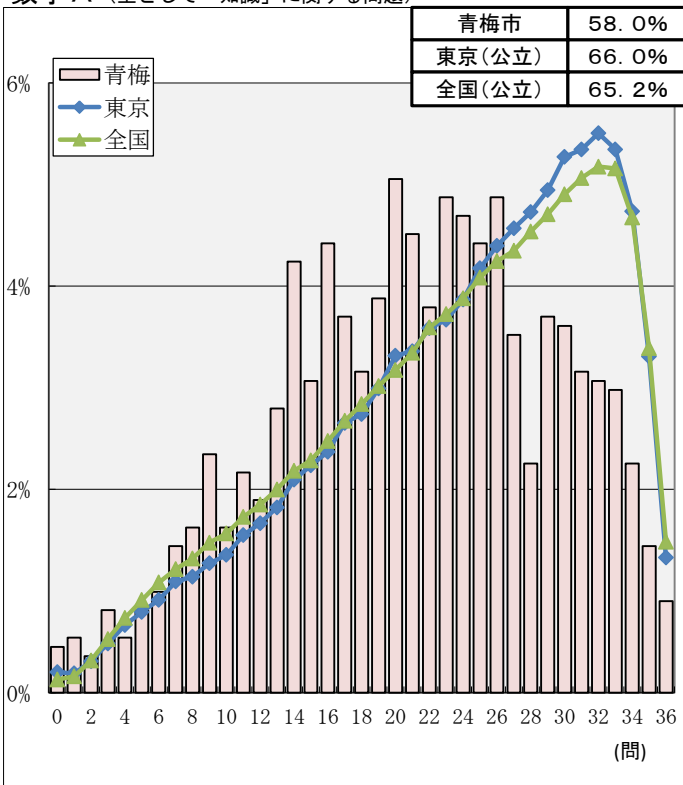
青梅市	66.0%
東京(公立)	74.0%
全国(公立)	72.7%



数学A (主として「知識」に関する問題)

平均正答率

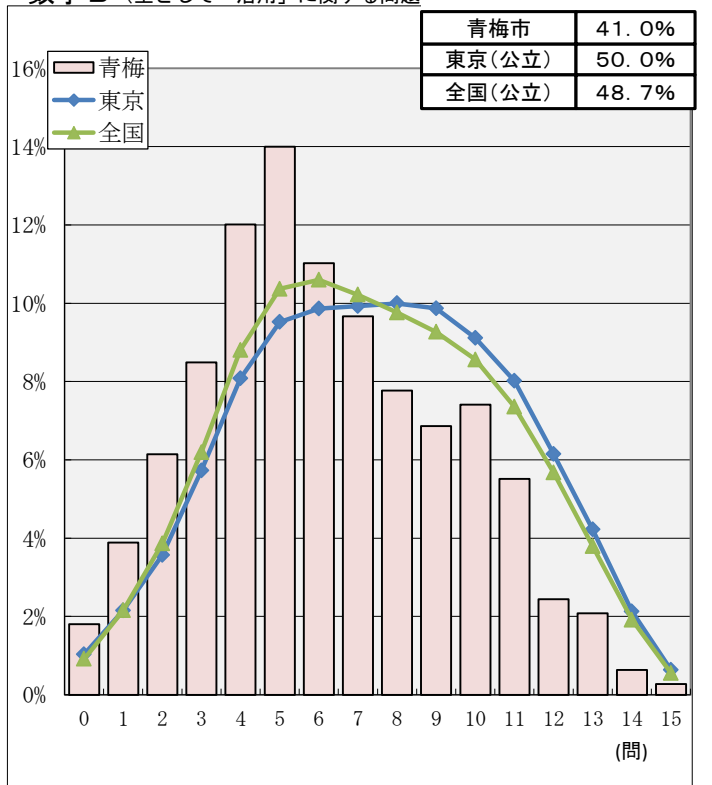
青梅市	58.0%
東京(公立)	66.0%
全国(公立)	65.2%



数学B (主として「活用」に関する問題)

平均正答率

青梅市	41.0%
東京(公立)	50.0%
全国(公立)	48.7%



<結果の概要>

○ 全国平均正答率と比較すると、国語Aにおいて、3.8ポイント、国語Bにおいて、6.7ポイント、数学Aにおいて、7.2ポイント、数学Bにおいて、7.7ポイント下回っている。昨年度と比較し、数学Bに関しては差は縮まった。その他の教科に関しては、大きな差異はなかった。

<改善策>

- 学力向上推進委員会において、今年度の調査結果の分析を行い、更なる学力向上のための授業力改善を図っていく。
- 青梅サタデースクール、放課後学習教室を有効活用し、基礎・基本の定着を図っていく。